

『当院における RRS 再構築の取り組みと今後の課題』

【目的】RRS(Raped Response System)院内迅速対応システムは、患者さんの急変の前兆をとらえるために予め起動基準を定め、緊急対応チーム(以下 RRT)に連絡し速やかに患者の安定化と管理を行うことで、致死性の急変に至るのを未然に防ぐシステムです。当院では“予期せぬ死亡をなくす”ことを目的にこれらの活動を行っています。過去の活動内容を分析し、今後の課題を見いだすことで院内の急変患者の減少に寄与していきたいと考えています。

【期間】2024 年 8 月 7 日～2025 年 3 月 16 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2021 年 4 月 1 日～2024 年 6 月までに当院で緊急対応チームを要請された患者様、院内救急コール対象患者様、小児病棟を除く急性期病棟、回復期病棟、地域包括ケア病棟の全入院患者様

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：電子カルテ DWH システムを使用し、以下のデータを抽出する

RRT 要請件数（新規入院 1000 対）

CPR コール件数等

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 APN ・ 集中ケア認定看護師、副看護師長

研究責任者 深津 百合